



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

96.6.6 No. 4409

## 動労千葉・国労破壊狙う 列車妨害を許すな!

### 列車妨害対策を講じない千葉支社!

三月以降、列車妨害が頻発している。しかも、JR総連・JR東労組は、この列車妨害事件について、「分割民営化に反対している者の犯行、国労や動労千葉やそれを支援している連中の犯行」などと叫び始めている。しかし、この種の列車妨害は、JR総連が分裂の危機に立ち至ったときに、必ず発生していることは、国鉄労働者であったなら誰でも知っている。

われわれは、こうした状況について申第三〇号を発出、六月三日、千葉支社において団交が開催された。

**真剣な対策を立てていない千葉支社**  
団交において千葉支社が回答した列車妨害対策は、  
① 千葉支社長を対策本部長にした対策本部を設置した。  
具体的には、指令から入った情報を支社全体に連絡するということのみ。これでは、通常の事故が発生した場合の連絡体制と全く同じ。  
② 一日一回施設関係の労働者が線路巡回をする。  
これも、いちごっこで強化した部分については、少なくなるが、手薄な部分で行われてしまふと当局が自身を認めている。  
③ 警察に依頼した。  
④ 乗客に不審者がいたら、通

報するようにキャンペーンを行っている。  
という代物である。  
しかも千葉支社の認識は、千葉では悪質な妨害は、発生してないという認識である。  
当局が明らかにした四月以降の列車妨害事件は、  
置き石一〇件、子供のいたずら、同じ子供が複数行っていることもある。  
工専用のセンターポールが置かれていた一件。  
車両に対するいたずら二一件、座席を刃物で切られるということが多い。また、非常停止ボタンが押され、緊急停車したということも二件。しかし、これは、犯人が解らない。急病人が発生したと思ひ、当該車両に車掌が行っても、乗客が知らないふりをしてる。

消火器のいたずら四件、安全ピンを抜かれた。  
窓ガラス破壊八件、小林駅が多い。新木駅の件もある。  
防護無線の発報一〇件、多かったのは、四月八日・三件、四月三〇日三件。五月一七日以降は発生していない。  
という内容であった。  
昨年の地下鉄サリン事件や今年の麻原の公判等については、支社は、非現業社員を総動員し、駅の警戒にあたった。  
しかし、頻発する列車妨害に對しては、認識も対策も全く真面目な体制となっていないのが現状だ。

「列車妨害は、国労や動労千葉が犯人」とするJR総連の主張には関知せず!

また、五月一六日の連合の中央執行委員会において、JR総連・柴田が「列車妨害の犯人は、分割・民営化に反対する者のしわざ。国労に黒い影が見える。」と言っていることに関し、

組 JR東労組が、最近、「列車妨害は、国鉄分割民営化に反対する連中がやっている。国労に黒い影が見える」と主張しはじめている。支社としてこのことをどう受けとめているのか。  
当 JR東労組が何を言っているのかは、組合の事であり関知していない。

組 冗談ではない。JRは、東労組を最大のパートナーシップと位置付けているではないか。その東労組から出ている主張について把握もしていないのか。  
当 組合が何を言おうが会社としては、関知しない。

### またも列車妨害発生

しかし、そんな千葉支社の対応の中、団交の翌日の六月四日、またしても列車妨害が発生した。小岩―市川間の江戸川鉄橋脇の

総武緩行線に三〇四角のコンクリートブロックが三個置かれ、一番列車が跳ねとばした。

列車妨害によって、危険な場面に遭遇するのは、乗務員と乗客である。われわれは、動労千葉や国労の破壊を狙うグループによる乗務員や乗客の命を顧みない列車妨害を断じて許さない。列車妨害に遭遇したら、直ちに本部・支部に連絡を!

### 新木駅で二回目

の襲撃事件発生  
動労千葉組合員二名・国労組合員一名が強制配転され、特別改札業務を強制されている新木駅において、五月二七日深夜、二八日早朝の時間帯にホーム下の線路上に自転車車が放置され、特改の詰所の入り口ドアのガラス窓が破られ、詰所の中に置かれていた鉄道電話の子機が強奪される事件が発生した。  
新木駅で発生した事件は、四月一八日特改詰所の窓ガラスが割られた事件に続き、二回目である。事件があった日は、動労千葉組合員が勤務していたが、事件発生時間帯は、管理駅の湖北駅での睡眠時間であるため、事件に巻き込まれず、ことなきを得たが、無人駅でたった一人の特改業務を強制されている現状では非常に危険である。  
また、事件に関し、現場検証や事情聴取が行われたが、現場検証は八人の我孫子署員が現場に来るといふ物々しい物となり、事情聴取では、動労千葉組合員・国労組合員が指紋を押捺を強制されるなど、犯人扱いされる人権侵害が発生している。動労千葉組合員の配転職場を狙った襲撃事件、警察の横暴な捜査弾効!